

事業企画アドバイザー
坂口 賢司さん

【市職員とのコミュニケーションについて】

Facebook メッセンジャーや Slack でのオンラインでのスピーディーなコミュニケーション環境を用意していただいたので、こちら出来る限りそれに準じ、カジュアルで素直なコミュニケーションを心がけました。

【5カ月で感じる職員・まちの変化】

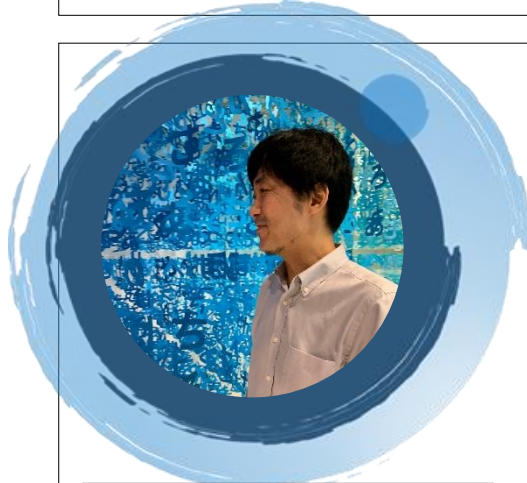
まだ5ヶ月だとそこまで変化は感じられることはないのですが、関わってくれたみなさんが考えるよりも行動に移すスピードが行政関連としては速く感じ、これがもっと今後加速していくと良いなと感じました。
知識などは深まった印象があります。

【具体的な活動内容】

- ・週次 MTG
- ・情報共有
- ・市の事業計画壁打ち
- ・起業家訪問&インタビュー
- ・起業家アンケート作成
- ・地域未来ミーティングで意見陳述

【社会実験で感じた市、行政への課題や提言】

外部との連携や起業家や企業との連携はとても良かったと思うのですが、逆に他の課などの協力体制がまだきちんと出来ていないことや、予算が少なく感じたので、是非もっと人や予算を割いて欲しいと思いました。あとは、具体的な行動に移した際の、結果の数値取得や変化をきちんと継続的にモニタリングして、成果をあげていける体制をしっかり構築していけると良いかなと思います。



事業企画アドバイザー
早川 延寿さん

【市職員とのコミュニケーションについて】

Slack 上での情報共有と、週次 MTG を中心としたコミュニケーション。オンライン中心ゆえ、情報共有時に齟齬や未読スルーが発生しないよう、確認やリアクション付けを心がけた。また、事務的なやりとりで終始することを避けようと、意図的に間接的な内容を投げかけるなど、場の醸成を試みたりも。

【具体的な活動内容】

- ・週次 MTG@リモート
- ・非同期の情報共有@Slack
- ・市の事業計画壁打ち
- ・起業家訪問&インタビュー
- ・起業家アンケート分析
- ・守山市ワーケーションモニター参加
- ・地域未来ミーティングで意見陳述

【5カ月で感じる職員・まちの変化】

ヨソモノなりに客観視して投げかけた仮説やメッセージの数々を、真摯に受け止めていただいた印象が強くあります。
どれほどの変化を触発できたのかは判断できないものの、勢いのある同志(起業家・予備軍、職員、支援機関のみなさま)が「もっと何らか動きを起こしたい」といった積極的で自律的なモチベーションと情熱を持っていると感じ取ることができました。

【社会実験で感じた市、行政への課題や提言】

全国のモデルケースを目指すような気概を持って、開かれた場と柔軟な発想を持ち続けていただけると幸いです。また、外部からの客観視を取り入れながらの積極的な情報発信の姿勢と、他自治体との率先したコミュニケーション力は素晴らしいと感じたので、ぜひとも継続していただけたら！願わくば、縦割りではなく横串で連携した施策の展開も期待したいところです。

マーケティングアドバイザー 吉川 賢治さん

【市職員とのコミュニケーションについて】

Slack のやりとりを中心として、週 1 回の MTG とたまに外部の人も含めたやりとりをする場合は FB メッセンジャーを使っていました。気が付いたこととしては、提案したいことがある程度固まっている場合は、口頭ベースでの提案にせず、テキストなり資料を Google drive 内に簡単に用意してお見せするようにしていました。

【5ヵ月で感じる職員・まちの変化】

マーケティングアドバイザーとしては出来るだけお客様(起業家や県外の人)の目線を考えることが大事だと思い、提案をするように心がけました。市や職員の方、関係者の方にこれまでと違う視点をこれまで以上に持ってもらえるきっかけになったのではと思います。まだまだ市自体への変化はこれからだと思いますが、何らかの形で関わっていければと考えております。

【具体的な活動内容】

- ・毎週のリモート MTG
- ・ワーケーションモニターツアー参加
- ・守山市内の起業家へのインタビュー
- ・他自治体を参考にした事業案の提案
- ・地域未来ミーティング事前準備

【社会実験で感じた市、行政への課題や提言】

今回やり取りをさせていただいた職員の方は行動力も巻き込み力もあり、外との連携もスムーズで、プロジェクトも進めやすかったと思います。一方で、市という大きな規模で目標を達成するには、他の職員の方も含めた協力をもっと必要なのではとも感じました。(簡単な話ではないとは理解しておりますが)そのためにも大きなゴールを定めて、それを共通認識として全体で推進していけるような機会が増えていくともっとゴールへの到達スピードが上がっていくのではないかと感じました。



広報 PR アドバイザー 田ヶ原 恵美さん

【市職員とのコミュニケーションについて】

Slack および Facebook メッセンジャーでのやりとりが中心でした。週 1 以上で会議に参加し、市の進捗や目標設計をするのと同時並行で、いまから取り組めそうな広報活動を提案していたつもりです。基本的に全て受け入れ体制でいてくださったので、とにかく提案して可能性を広げられるようなコミュニケーションを意識しました。

【具体的な活動内容】

- ・毎週の定例会議へ参加
- ・記者勉強会の提案
- ・市役所向け広報 PJ の提案資料
- ・アンケート結果の公表内容について資料まとめ
- ・ワーケーションモニターツアー参加
- ・地域未来ミーティング参加
- ・オフライン会議の取材誘致

【5ヵ月で感じる職員・まちの変化】

担当職員のみなさまはもともと優秀で素敵な方達ばかりなので、いい意味で特に変化は感じていません。こちらとしては一緒にまちづくりをするぞ！といった仲間意識を感じとても嬉しく思いました。街としては、掲げている「起業家の集まるまち」を体現できるよう、月 1 以上で新聞社含むメディア媒体で取り上げていただけるよう働きかけられたことは、今後に繋がると信じています。実際現地へ足を運んだ際には多くの起業家にお会いでき、より具体的に施策をイメージできたのでよかったです。

【社会実験で感じた市、行政への課題や提言】

本 PJ においては特に、どんなステークホルダーがいるのか(どこを押さえておくべきか)が担当者からの相関図などでわかっておけば、より多くの取り組みができたかもしれないと後から反省しました！